

理科の楽しさ、実験の楽しさ

コンポンチュナン州は東南アジア最大の湖トンレサップ湖の南端に位置する小さな州で、市場には新鮮な魚が並び、チュナン焼きと呼ばれる素焼きの焼き物が有名で、首都プノンペンからは車で2時間ほどの場所にあります。大きな観光地もスーパーもないこの小さな街では、自然と共に生きるカンボジアの人々の暮らしを身近に感じることができます。

自分の配属先は小学校教員養成校で、これから小学校の先生になる生徒たちに理科の教授方法を伝える活動をしてきました。カンボジアの理科教育では実験を行うことが少なく、今までに実験をしたことがないという生徒も多くいました。



授業風景。分子モデルの作成中

当初は日本と同じように実験を行っていましたが、自分のクメール語の能力が低く、理論や理由がちゃんと伝わっていないのかがわからない状態でした。しかし、生徒の真面目さやカウンターパートの優しさのおかげで



大家さんの孫たちとギター練習中

生徒の理科の知識の実態がわかってからは、まずはどんどん実験を導入しようと思うようになりました。

現在は新型コロナウイルスの影響を受けて一時帰国中ですが、少しでもカンボジアの皆さんに理科の楽しさを伝えるべく、実験動画を作成しています。少しでも早くコロナウイルスが収束し、平和な時間が戻ることを祈っています。

大長賢太郎 DAICHO Kentaro

千葉県鎌ヶ谷市出身。理科教諭。国内で理科教諭として働くうちに、世界の理科の状況を知りたい、世界の困っている人たちを助けたいという気持ちから青年海外協力隊に参加。趣味はサッカー、自然散策、動物(爬虫類・両生類)の写真撮影。今カンボジアで一番見たい生き物はクロプー(ワニ)。

※現在、JICA 海外協力隊は新型コロナウイルス感染の拡大を受け、日本に一時帰国中です